



知基第169号
平成31年2月12日

外務省特命全権大使（沖縄担当）
川村 裕 殿

沖縄県知事 玉城 デニー



外来機の飛来に伴う基地負担の軽減について（要請）

平成31年1月末、嘉手納飛行場にU-2偵察機が、2月5日には、CV-22オスプレイが飛来するなど、相次ぐ外来機の飛来により、地元自治体、周辺住民は、外来機による訓練等が常態化することに非常に強い懸念を抱いております。

また、普天間飛行場においても、平成30年12月5日、宜野湾市上大謝名で平成10年以降最大となる123.7デシベルの騒音を観測するなど、日常的に米軍基地と隣り合わせの生活を余儀なくされている県民に、平穏な日常生活や生命に対する不安を与え続けていることは、極めて遺憾であります。

政府は、米軍再編に係る訓練移転等により、両飛行場周辺の騒音軽減を図るとしてありますが、外来機の度重なる飛来により、依然として目に見える形での負担軽減が図られているとは言えない状況であります。

県としては、外来機、常駐機にかかわらず、米軍の訓練等により、県民に被害や不安を与えることがあってはならないと考えており、現在行っている、訓練移転の取組の強化のみならず、外来機の飛来制限など、地元が負担軽減を実感できる取組を行うよう強く要請します。

また、2月5日にU-2偵察機が通常、離陸直後に滑走路路上に切り離すべき補助輪を装着したまま飛行した事故に関しては、事故原因の徹底的な究明と速やかな公表、実効性のある再発防止を実施するよう併せて要請します。



知基第169号
平成31年2月12日

沖縄防衛局長
田中 利則 殿

沖縄県知事 玉城 デニー



外来機の飛来に伴う基地負担の軽減について（要請）

平成31年1月末、嘉手納飛行場にU-2偵察機が、2月5日には、CV-22オスプレイが飛来するなど、相次ぐ外来機の飛来により、地元自治体、周辺住民は、外来機による訓練等が常態化することに非常に強い懸念を抱いております。

また、普天間飛行場においても、平成30年12月5日、宜野湾市上大謝名で平成10年以降最大となる123.7デシベルの騒音を観測するなど、日常的に米軍基地と隣り合わせの生活を余儀なくされている県民に、平穏な日常生活や生命に対する不安を与え続けていることは、極めて遺憾であります。

政府は、米軍再編に係る訓練移転等により、両飛行場周辺の騒音軽減を図るとしてありますが、外来機の度重なる飛来により、依然として目に見える形での負担軽減が図られているとは言えない状況であります。

県としては、外来機、常駐機にかかわらず、米軍の訓練等により、県民に被害や不安を与えることがあってはならないと考えており、現在行っている、訓練移転の取組の強化のみならず、外来機の飛来制限など、地元が負担軽減を実感できる取組を行うよう強く要請します。

また、2月5日にU-2偵察機が通常、離陸直後に滑走路上に切り離すべき補助輪を装着したまま飛行した事故に関しては、事故原因の徹底的な究明と速やかな公表、実効性のある再発防止を実施するよう併せて要請します。